

公益社団法人 隊友船橋だより

平成30年 6月号 発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

平成30年船橋支部総会

「会が有意義にと」の思いで時間不足！

懇談会でも熱烈な議論！



支部は、平成30年度隊友会千葉船橋支部総会を、平成30年6月3日（日）10時～12時、習志野駐屯地において24名参加、議案について審議した。

物故者に対する黙祷、国歌斉唱、叙勲者の紹介、支部長（森良雄）挨拶、千葉県隊友会長（小淵信夫）が

「県内各支部の現状と今後の隊友会の在り方などについて挨拶」後、開始した。

議題は、第1号平成29年度事業報告、第2号平成30年度計画、第3号平成29年度会計監査報告、第4号平成30年度事業計画、第5号平成30年度予算計画案、第6号役員人事解・任について行われ議案については参加者の賛同を得たが、質疑応答に入る前に懇親会に不参加の為に堀佐正俊会員（松が丘分会

の内科・小児科院開業中、現在予備自衛官2等陸佐）の自己紹介のあと、自由闊達な意見交換開始。



先ず窪洋之右高根（台）分会長、羽田行雄大穴分会長他多くの会員から「隊友



会活動状況の PR が不十分、七勇士碑の清掃時横断幕掲示、声かけはマンショ



ンなど難しい、入会後のケアと入会後のやりがいのあることなどが不明確、入会後のメリットのみ追求はダメ」

北岡二和・咲が丘分会から七勇士の活動支援、知人の校長の紹介、桜の木の植樹などについて」



岡本事務局長「船橋だよりの折り込み・配布の継続の重要性と協力者の募集と困難性について」

小原習志野台分会長「会員メリットについて、年齢層によって変化してくる（65代までは仕事優先、70代以上になってからが重要など、隊友会は何し

ているの？の声が多い名に見えてない、PR や実行動が重要だ）

神谷会計監査役から「会員間の情報交換は重要、



近年は電話対応は困難な時代、応答の工夫が必要「詐欺」、死亡後の恩給・勲章・年金手続きなど整理し家族に伝えておくこと、人生は今や100歳、自己管理と生きる気持ちが大切、情報交換は船橋だよりは重要！」

岡本勉事務局長「PRには個人の努力も大切、なかなか現職時代のプライドの意識が重要、憲法改正は特に第9条のことなど重要、他のOB会や空挺同志会などと異なっている。」





米山薬円台会員（習志野市危機管理監）「防災も重要、北朝鮮絡みの国民保護、法についての意識も重要、市民はミサイルによる爆風のことはなど全く認識が薄いので30年度は会員からも市民に情報お願いしたい。」

木村二和・咲が丘分会長「憲法改正 NHK 放送などについて」



ここで小淵会長から、他の支部の入会率について紹介、千葉県は10%、しかしながら他の会やOB会などから入会してくる人もいる。」

木村二和・咲が丘分会長「入会について、入会率は定年後から65歳までと、それ以上の年齢層によって異なってくるのではないかと、会勢拡大のためにはしっかり分析し、プロジェクトにより具体的目標作りが必要」など活発な意見交換が行われ懇親会に移行した。

木村二和・咲が丘分会長「入会について、入会率は定年後から65歳までと、それ以上の年齢層によって異なってくるのではないかと、会勢拡大のためにはしっかり分析し、プロジェクトにより具体的目標作りが必要」など活発な意見交換が行われ懇親会に移行した。



懇親会は、テーブルを四角で全員の顔が判かるように配置、

全員の自己紹介からゴング、特に初参加：三山・飯山満分会：松枝 稔会員からは家族支援などについて紹介、山田 彰二宮・飯山満分会（海）は身体故障直後にも関わらず参加、経験などについて紹介、また樋口隆保（前々支部長現海神分会）も喉の不調にもかかわらず懸命に？自己紹介に始まるなど、この人たちは本当に上は86歳で平均年齢76歳かな？という勢いで口宣伝合戦？はじめは自分の席で腹を満たし、落ち着いた所を見計らってお酌合戦による意見交換？グループ交換、小淵会長も一人一人と意見合戦、大きな声を出さないと負けじとあちらこちらで意見交換合戦もう記事にはなりません。

ということで、あっという間に14時半で乾杯きれいに解散し、全員異状なく正門を後にしました。



(原稿：門脇 写真：木村)

「相互に顔見合わせ実施 支部第1号」

大震災時派遣隊員家族の安否確認等支援のために

木村義忠二和・咲が丘分会長夫妻と、北岡分会員夫妻は、5月23日

「第一空挺団第二普通科大隊第四中隊の山本彰博家族との顔見合わせを行った。」

「大震災時の派遣された際の隊員の留守家族に対し、安否の確認などを行い安心して任務に邁進するために支援を行うことが重要とのことで陸上自衛隊と隊



友会との協定により」船橋支部第1号として木村分会長宅で隊員との顔見合わせ会を実施した。会員家族支援のため支部に隊員13名、この家族合計23名で支援する会員は9名である。(原稿：門脇 写真：木村)